

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県 一宮市立 浅野小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他(例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒491-0871
愛知県 一宮市 浅野 字野口 95 番地
E-mail asano-e@city.ichinomiya.aichi.jp
Website http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2310148
幼児児童生徒数 男子 279名 女子 256名 合計 535名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要(800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校におけるESD(持続可能な教育)は、3年生以上の各学年の「総合的な学習」を中心に取り組んでいる。環境教育だけでなく、学年の主な行事との関連を考えて、主たる取り組みを決め、年間計画を立てて取り組んでいる。

3年生…地域学習 4年生…環境学習 5年生…食育 6年生…国際理解

(1) ESDカレンダーの作成

ESDカレンダーを以下のように作成し、実践に取り組んだ。

カレンダー作成に当たって留意したことは、まず各学年の主たる取り組みに対して、どの時期にどの位時間を使うのかを確認した。今年度のポイントとして考慮したのは、以下の点である。

- ① 校務分掌上の担当者変更になったことで、新聞活用の中心を5年生とする。
- ② 国際理解として、どの学年も行う国際交流員を招いての取り組みの他に、外部講師を招いての学習機会を5・6年生に取り入れる。
- ③ 同じように環境教育についても、エコスクールとして取り組む4年生に外部講師を招いての学習機会を取り入れる。また、学校全体としての活動となるように考えていく。
- ④ 情報モラルの視点を入れた学習を全学年で行うように組み入れる。

(2) 各領域の取り組み

- ① 地域

3年生の社会科を補充深化する形で取り組んでいる。年度末には、校区地図を作成している。校区内の歴史的な建物や場所については、自分達で足を運び、取材をしてまとめている。

② 国際理解

今年度は、一宮市の国際交流員や留学生を招いて、イタリアやウズベキスタンの話を聞く機会を持つことができた。また、各学年で、内容を検討して、それぞれの総合や教科等の内容に関連するようにした。4年生については、環境に取り組んでいるので、それぞれのお国の環境に対する考え方や小学校での取り組み内容を紹介してもらい、自分達の取り組みをもとに質問をして、話を聞くことができた。このようにして、5年生なら食育、6年生なら日本との比較という点から話を聞き、質問し、教えていただくことができた。

英語活動をALTに来ていただき、全校学級で授業を行った。

6年生は、社会科の発展として修学旅行の目的地を調べたり、体験したりする活動を「自国理解」として行ってきた。また、作品展と関連付けて、水墨画に挑戦することにした。一宮市の生涯学習課に問い合わせ、外部講師に来ていただき、基本を学んで、各自が創意工夫した作品に仕上げるようにした。さらに、海外の国々で生活する人々の様子について、写真から分かること、感じたことを話し合った。



③ 環境

3年生は、理科で草花やモンシロチョウの成長を観察した。市内各学校で行われている「ヤゴ救出作戦」も自然と環境を考える良い機会となった。

4年生では、社会科の「水」「ごみ」学習や東部浄化センター及び環境センターの見学で、環境保全に対する意識を高めた。総合的な学習の時間では、エコスクール運動の一環として、エコレンジャー活動を行った。各クラスで曜日や場所を決め、放課や掃除の時間に節水や節電、ゴミの分別の呼びかけをしたり、各クラスにあるリサイクルボックスの回収をしたりしている。そこで、地球温暖化について外部講師を招いてお話を聞き、学芸会では、環境をテーマに劇化したものを保護者や地域の方々の前で発表した。

その他、学校全体での取り組みとして、「エコキャップ運動」「一人一鉢運動」「地域清掃活動」があり、さらには、委員会活動として「緑のカーテン」、学校に隣接する畑で1～3年生による「サツマイモの栽培」も実施している。



④ 福祉

5年生で、「福祉実践教室」を行っている。他人を思いやるやさしい心を持つ子供達になるよう夏休みの野外教育活動でも「協力」「思いやり」からなる「笑顔」を目標に掲げてきた。3学期には、近くの保育園に行き、交流会を行っている。

⑤ 食育

5年生は、理科の発芽の学習で使用した大豆を育てて収穫し、とれた大豆で浅野オリジナルブレンド味噌づくりを行っている。味噌作りは大豆を煮ることから始まり、そこから大豆を細かくつぶし麴などを混ぜ合わせて1日がかかりで作る。作った味噌は1年間発酵させ、6年生の学校公開でみそ汁を作って家族をもてなした。

⑥ 新聞活用

高学年の毎日の活動として、朝の会での新聞記事紹介を行っている。それをもとに2

学期の後半で、今までストックしてきた記事をB紙にまとめていくようにさせる。今年度は、5年生全体で、テーマを決めて、一人一人に取り組ませた。

⑦ 情報

1年生から学年の発達段階に応じて、総合的な学習の時間を含めた教科等で、ワープロソフトやデジカメのデータの取り込みを行い、活用できるようにしている。今年度は、特に「情報モラル」について、各学年での実践を計画し実践した。右図のような分かりやすい模擬アプリや画面をもとにどのように対処していけばよいのかを考えさせたり、道徳の授業も関連させたりして、モラル向上を図った。

3 研究の成果と課題

ESDカレンダーを作成することによって、「総合的な学習の時間」を有効に使うように計画できた。各学年の中心テーマである「地域」「環境」「食育」「国際理解」において、外部講師を招くことができ、積み重ねられてきた実践の幅が広がった。

一方、子供達が自ら学んで行く姿勢を大切にしたい課題解決学習となる授業の組み立て方（単元構成）をさらに考えていきたい。次年度の年間計画を見直し、核となる体験活動や外部講師導入を組み込んでいき、自らの課題を解決していく授業実践ができるようにしていきたい。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述	）

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<p>中日新聞</p>

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>3年生以上の各学年の「総合的な学習」を中心に取り組んでいる。環境教育だけでなく、学年の主な行事との関連を考えて、主たる取り組みを決め、年間計画を立てて取り組んでいる。</p> <p>3年生…地域学習 4年生…環境学習 5年生…食育 6年生…国際理解</p>

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度初めに総合的な学習の時間の計画を各学年で作成し、提出する。特に 5・6 年生にまたがっては、大豆についての調査、みそ造り、みそ汁づくりを行う。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200 字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ユネスコスクールとしての活動の質の向上について、話し合う機会がなかなか持てていないのが現状である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200 字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

活動している様子を HP に活動を載せている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（200 字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

日本文化を学ぶため、水墨画の団体に年 1 回、水墨画を教えていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールとして活動するための専門教員がおらず、他の学校との交流・ネットワークを形成するまでに至っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（２００字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

昨年度の学芸会では４年生が環境問題に関する劇を演じた。日ごろ、４年生が古紙の回収作業を行っており、意識の高さが劇を見ていて感じた。

(3) 平成30年度の活動計画(200～400字程度)

総合的な学習の時間			年間計画表											
	領域	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	国際	5						○	○			○		
	地域	20		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	情報	10		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
4年	環境・国際	24		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	情報	11		○	○	○		○			○	○		○
5年	食育・環境	47	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	新聞活用	8								○	○	○		
	福祉・国際	8						○		○	○	○		
	情報	12		○		○		○		○		○		○
6年	国際	49	○	○	○	○		○	○	○		○	○	
	環境・キャリア	10						○	○	○			○	
	情報	16	○	○	○	○				○	○	○	○	○

上の表のようにESDカレンダーを作成し、総合的な学習の時間を中心に取り組んでいく。